

# News Release

2024年6月19日

この資料は BASF 本社(ドイツ)が 2024 年 6 月 7 日に発表した英語のプレスリリースを BASF ジャパンが日本語に翻訳・編集したものです。

## 業界初: BASF、バイオマスバランス ecoflex® (PBAT)の投入により、新しい価値を付加

- 新しい ecoflex® F Blend C1200 BMB は、通常の ecoflex®グレードに比べ、プロダクトカーボンフットプリントを 60%削減
- 化石由来原料を廃棄物由来の再生可能な代替原料に置き換え、認証されたバイオマスバランス (BMB)アプローチにより製品に割り当て
- ドロップインソリューション: ecoflex® BMB は通常の ecoflex®グレードと同じ特性、性能、機械加工性、および生分解性認証を保有
- バイオマスバランス ecoflex®は、包装資材業界における再生可能原料の利用拡大に貢献

BASF(本社:ドイツ ルートヴィヒスハーフェン)は包装資材業界に再生可能資源の使用を拡大する新たな方法を提供します。バイオポリマーの配合材として幅広く使われているポリブチレンアジペートテレフタレート(PBAT)に、バイオマスバランス ecoflex® (ecoflex® BMB)を投入することで、生分解性(堆肥化可能)ポリマーの製品ポートフォリオを拡大します。新しい ecoflex® F Blend C1200 BMB では、製造工程で通常使用される化石資源を、バリューチェーンの初期段階で再生可能資源に置き換えています。再生可能な原料は廃棄物やバイオマス残渣に由来し、REDcert<sup>2</sup>と ISCC PLUS<sup>\*1</sup>に従って認証されたマスバランスアプローチによって ecoflex®グレード製品に割り当てられます。バイオマスバランスの ecoflex®は、化石資源の使用削減に貢献するだけでなく、通常の ecoflex® F Blend C1200 と比較して、プロダクトカーボンフットプリント(PCF)<sup>\*2</sup>も 60%削減します。

コンポスト袋など PBAT をベースとした堆肥化可能な製品は、有機廃棄物を回収し、リサイクルをやすくすることで、循環型経済の構築に貢献します。しかし、PBAT の生産において、化石資源の使用を完全に回避することは現時点では不可能です。そこで、ecoflex® BMB の投入により、BASF はこのギャップを埋め、使用後に有機的にリサイクルできるソリューションを提供します。さらに、その化石資源は、製造プロセスの初期段階で再生可能な原料に完全に置き換えられています。こうして BASF は、循環型経済の生物学的ループを閉じるための新たな一歩を踏み出しました。

ecoflex® BMB により、包装資材業界のお客様は、性能と品質を犠牲にすることなく、また新たな生産設備への追加投資を必要とすることなく、化石資源の消費量削減に貢献し、製品の差別化を図ることができます。ecoflex® BMB は、特性、品質、認証において従来のグレードと同じです。そのため、お客様は ecoflex® BMB を使用した製品の再評価、配合の調整、既存の製造工程の調整を行う必要はありません。お客様は、慣れ親しんだ従来品と同じ性能を期待することができ、ドロップインソリューションの恩恵を受けることができます。

「バイオポリマーのパイオニアとして、私たちは再生可能な資源を用いた循環型経済への移行においてお客様をサポートする努力を続けています」と、BASF のバイオポリマー・グローバル事業責任者であるマーセル・フィリップ・バースは述べています。「当社の ecoflex® BMB は、世界のバイオポリマー市場において業界初の製品であり、化石資源の使用量を削減し、温室効果ガスの排出量を減少させ、有機廃棄物や残留バイオマスから得られる再生可能な原料の使用を促進することで、包装資材業界における持続可能性への取り組みを推進しています。このように、私たちはお客様が十分な情報を得た上で製品設計できるように支援し、より循環型の包装資材バリューチェーンを形成していきます。」

### バイオマスバランス・アプローチ

バイオマスバランス・アプローチでは、製造工程の最初の段階で、化石資源の一部を廃棄物由来の再生可能資源に置き換えます。そして、再生可能資源量は、第三者認証の方法によって、製造工程の最終段階で特定の製品に割り当てられます。BASF は、使用する再生可能な原料から最終製品に至るまでの加工・流通管理を確立しています。独立した第三者認証により、BASF は REDcert<sup>2</sup> および ISCC PLUS の要件に従って、顧

客が購入する製品において必要な量の化石資源を再生可能な資源に置き換え可能になります。

### **ecoflex® – BASF のパイオニア**

ecoflex®は 1998 年以來、生分解性があり、堆肥化可能であることが認証されたバイオポリマーとして初めて市場で発売された製品です。ecoflex®をベースとしたバイオポリマーのイノベーションは、使用済みのプラスチック製品に新たな選択肢をもたらし、有機物のリサイクルを可能にすることで、循環型経済に貢献しています。ブレンドパートナーとして、ecoflex®は、BASF の堆肥化可能認定を受けたコンパウンド品である ecovio®に、柔軟性や強靱性といった特殊な材料特性を与えています。ecovio®の利点は、生産、梱包、食品の品質保持期限だけでなく、食品廃棄物の収集においても有効であることが、研究により実証されています。このような利点は、商業用および家庭用堆肥化設備や農地における生分解性に関する認証など、材料の特性に基づいています。ecoflex®と ecovio®は、食品廃棄物の回収をしやすくすることで食品廃棄物を減らし、高品質の堆肥として土壌に栄養分を還元します。これが、有機資源のリサイクルによる栄養分の継続的な循環につながり、循環型経済に貢献します。

詳細情報:

<https://www.ecoflex.basf.com>

<https://www.basf.com/massbalance>

※このプレスリリースの内容および解釈については英語のオリジナルが優先されます。

### **■BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部について**

BASF のパフォーマンスマテリアルズ事業本部は、プラスチックに求められる持続可能性への変革の最前線にいます。BASF の製品は、トランスポーター、消費財、インダストリアルアプリケーション、建築・建設という4つの主要産業分野にイノベーションをもたらすため、世界中のお客様と共同で開発をすすめています。私たちの研究開発は、プラスチックに関するすべての工程(プラスチックジャーニー)である MAKE(製造)、USE(使用)、RECYCLE(リサイクル)に焦点を当てています。製造段階では、製品の設計から原材料の選択、製造工程に至るまで、プラスチックの製造方法を改善します。使用段階では、軽量性、堅牢性、耐熱性といったプラスチックの強みを強化します。製品のライフサイクルの終段には、循環型経済を実現するためにどのようにプラスチックジャーニーを終了させるかを検討する「リサイクル」段階があります。2023年、パフォーマンスマテリアルズ部門の世界売上高は72億ユーロを達成しました。

## ■BASF について

BASF(ビーエーエスエフ)は、ドイツ ルートヴィッヒスハーフェンに本社を置く総合化学会社です。持続可能な将来のために化学でいい関係をつくることを企業目的とし、経済的な成功とともに環境保護と社会的責任を追究しています。また、全世界で約 112,000 人の社員を有し、世界中のほぼすべての産業に関わるお客様に貢献しています。ポートフォリオは、6 つの事業セグメント(ケミカル、マテリアル、インダストリアル・ソリューション、サーフェステクノロジー、ニュートリション & ケア、アグロソリューション)から成ります。2023 年の BASF の売上高は 689 億ユーロでした。BASF 株式はフランクフルト証券取引所(BAS)に上場しているほか、米国預託証券(BASFY)として取引されています。BASF の詳しい情報は、<https://www.basf.com> をご覧ください。

(\*1 REDcert<sup>2</sup> および ISCC PLUS は、化学工業における持続可能なバイオマスの資源利用のための持続可能性認証スキームになります。これらの認証スキームに基づく認証は、使用されるバイオマスが持続可能であり、必要な量が生産システムに投入されていることを確認するものです。また、持続可能なバイオマスが、対応する販売製品に正しく割り当てていることも確認します。認証は、独立した監査員による現地監査に基づき付与されます。

(\*2 BASF の従来型製品のプロダクトカーボンフットプリント(PCF)計算は、ISO 14067:2018 の要件とガイダンスに従っています。TÜV Rheinland の手法により、BASF SE が開発し使用している SCOTT PCF 方法論が科学的証拠に基づいており、ISO 14067:2018 および Together for Sustainability PCF ポリシーに適合し、最新の技術を反映していることが認証されました(ID 番号 0000080389: BASF SE – Certipedia)。さらに、TÜV Rheinland により、バイオマスバランス(BMB) PCF 計算方法および BMB 認証製品の関連 PCF 削減量が、ISO 14067 および Together for Sustainability (TfS)ポリシーに準拠した従来の LCA 手法に従っていることも確認されています。